

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	各種お問い合わせ ☎ 0120-782-031 (通話料無料)
(ホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	東京都において発行する日本経済新聞に掲載する方法により行います。

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

- 未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

- 配当金計算書について
配当金お支払いの際に送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用頂くことができます。
ただし、株式数比例配分方式をご選択頂いている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。
なお、配当金領収証にて配当金をお受け取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させて頂いております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

- 特別口座について
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

単元未満株式(1～99株)の買取・買増請求制度のご案内

当社株式の証券市場での取引は100株単位となっており、単元未満株式(1～99株)を市場で売買することはできません。当社では、「単元未満株式の買取請求制度」および「単元未満株式の買増請求制度」を採用しておりますので、ぜひお手続きください。また、どうぞ案内申し上げます。

なお、お手続きの詳細につきましては、上記株主名簿管理人までお問い合わせください。

● 買取・買増制度の例(170株ご所有の場合)



日鍛バルブ株式会社

〒257-0031 神奈川県秦野市曽屋518番地
TEL:0463-82-1311 FAX:0463-82-7413

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境に配慮した「植物油インキ」を使用しています。

日鍛バルブ株式会社

証券コード：6493

NITTAN VALVE REPORT 第93期 上半期報告書

平成26年4月1日から平成26年9月30日まで

INDEX

株主の皆様へ 01

セグメントの概況 03

特集 05

連結財務諸表 07

株式情報／会社情報 09

事業拠点 10

CHALLENGE, CREATION, SPEED

挑戦、創造、スピードをモットーに、
時代のニーズを先取りした
高品質な製品をご提供します。



当社第93期上半期(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)が終了いたしましたので、ここに決算と主要項目につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

高橋 久雄

当第2四半期の市況について

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響はあったものの、企業収益や雇用情勢が改善するなど景気は緩やかに回復しました。先行きについても、海外景気下振れリスクなどが懸念されるものの回復基調が続くことが期待されます。一方、世界

経済は、欧州、中国やその他新興国の先行きに留意する必要はあるものの、全体としては緩やかな回復が続いております。

また、当社グループが関連する自動車業界におきましては、国内市場は消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響等により低調となりました。海外市場では中国における需要拡大や米国の回復などを背景に概ね堅調な推移となりました。

取り組みおよび業績について

このような状況のもと、当社グループは、「基盤強化」、「持続的発展」、「企業風土改革」を柱とし、新たに“構造改革を成功させ、利益革新に挑む”という経営方針を掲げ、国内外で競争力を高める施策を積極的に展開してまいりました。

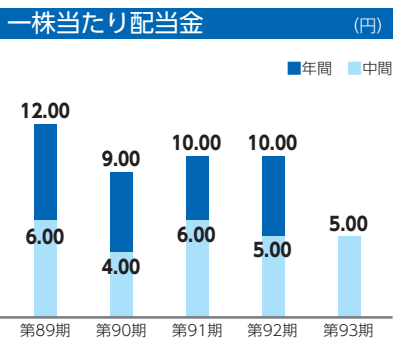
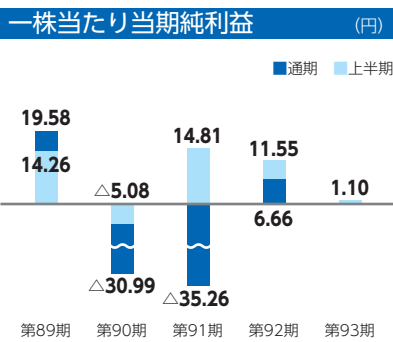
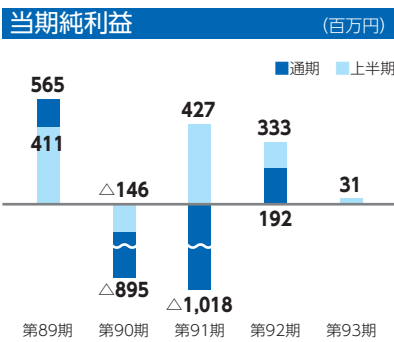
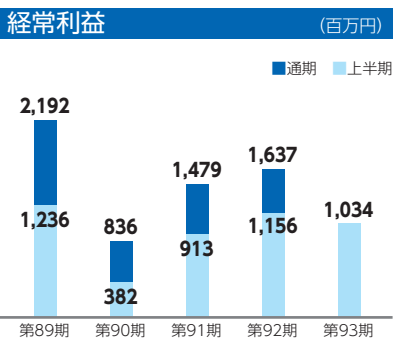
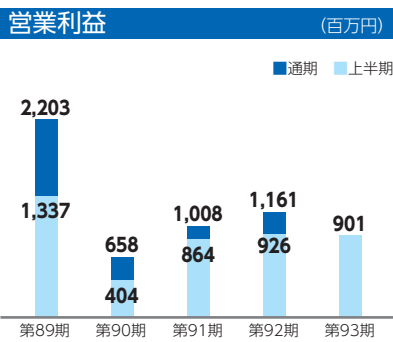
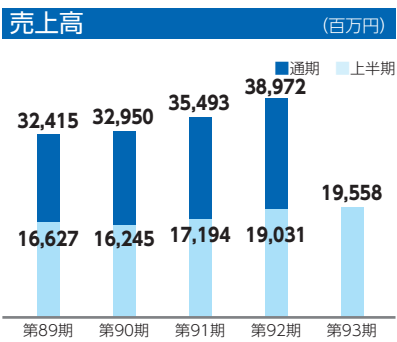
当第2四半期連結累計期間の業績としましては、国内事業は、四輪車用エンジンバルブの受注減が影響し前年同期に比べ減収となりました。海外事業は、中国における生産拡大やベトナム子会社の量産開始に伴い堅調な推移となりました。この結果、売上高は、195億58百万円（前年同期比2.8%増）となりました。

損益面につきましては、国内、東南アジアにおける小型エンジンバルブ事業の減益により、営業利益9億1百万円（前年同期比2.6%減）、経常利益10

億34百万円（前年同期比10.6%減）となりました。四半期純利益は、保有する投資有価証券の一部売却をしたことに伴い投資有価証券売却損を特別損失に計上し、また、当社が納入をした製品に関連した納入先の損失に対しての損失補償金を特別損失に計上したことなどにより、31百万円（前年同期比90.5%減）となりました。

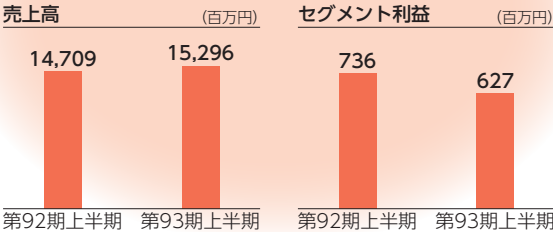
なお、第1四半期連結会計期間より、インドにおける小型エンジンバルブ製造の子会社であるニッタンインディアテック Pvt. Ltd.および当社のグローバル展開のマネジメントを担う子会社であるニッタン・グローバル・テック株式会社の2社を新たに連結しております。

決算ハイライト(連結)



■ 事業別（連結）売上高・セグメント利益

■ 小型エンジンバルブ



国内事業では、四輪車用エンジンバルブは、軽自動車用製品の受注減および一部製品の海外移管により減収となりました。二輪車用エンジンバルブは、一部製品の海外移管により減収となりました。海外事業においては、アジア地域では、東南アジアにおける為替の円高影響はあったものの、中国における四輪車用製品の新規立ち上がり等により増収となりました。北米地域では、受注量は横ばいであったものの為替換算の円安効果により増収となりました。

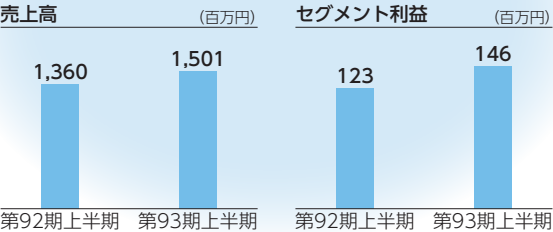
当セグメントの損益面につきましては、中国の好調、北米の回復による増益要因はあったものの、国内の受注減や東南アジアのコスト増加により減益となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、インドにおける小型エンジンバルブ製造の子会社であるニッタンインディアテック Pvt. Ltd.を新たに連結しております。

この結果、当セグメントの売上高は、152億96百万円（前年同期比4.0%増）、セグメント利益（営業利益）は、6億27百万円（前年同期比14.7%減）となりました。

(注) 1. 各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高または振替高を含んでおります。
2. 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

■ 船用部品



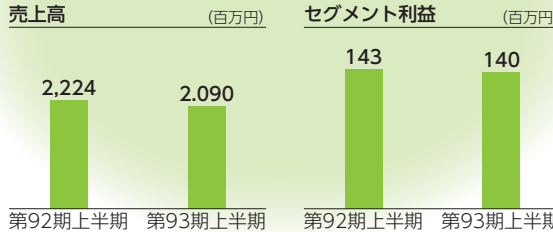
船用関連製品につきましては、受注環境が徐々に好転してきていることから組付部品・補給部品が増加し増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、15億1百万円（前年同期比10.4%増）、セグメント利益（営業利益）は、1億46百万円（前年同期比18.7%増）となりました。

■ 為替変動について

		第92期 上半期	第93期 上半期
USドル	円 /USD	98.63	101.30
タイバーツ	円 /THB	3.17	3.11
台湾ドル	円 /TWD	3.29	3.39
インドネシアルピア	円 /IDR	0.00979	0.00844
人民元	円 /RMB	16.07	16.31
ポーランドズロチ	円 /PLN	29.79	33.31
韓国ウォン	円 /KRW	0.0860	0.1000
ベトナムドン	円 /VND	0.00474	0.00483
インドルピー	円 /INR	—	1.69

■ 可変動弁・歯車

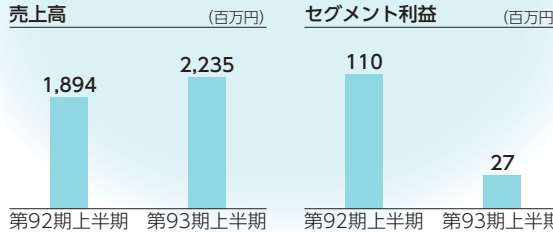


可変動弁につきましては、中国向け製品の受注増により増収となりました。

精密鍛造歯車につきましては、アジア地域向け自動車用製品の受注減により減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、20億90百万円（前年同期比6.0%減）、セグメント利益（営業利益）は、1億40百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

■ その他



バルブリフターにつきましては、中国向け製品の受注減により減収となりました。

工作機械につきましては、海外事業での新規立ち上がりや生産ライン増設に伴うグループ内部での取引が増加し増収となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、当社のグローバル展開のマネジメントを担う子会社であるニッタン・グローバル・テック株式会社を新たに連結しております。

この結果、当セグメントの売上高は、22億35百万円（前年同期比18.0%増）、セグメント利益（営業利益）は、27百万円（前年同期比75.1%減）となりました。

■ 所在地別（連結）売上高・セグメント利益

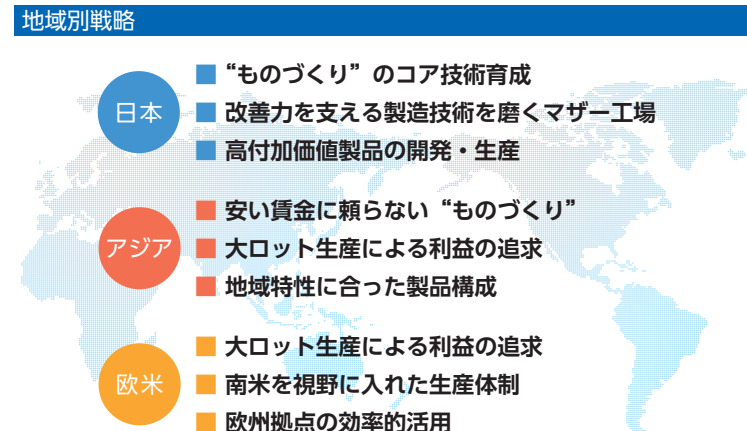
	日 本	ア ジ ア	北 米	欧 州
売 上 高	104億65百万円	60億17百万円	45億49百万円	4億43百万円
前年同期比	5.0%減	19.1%増	2.6%増	18.2%増
セグメント利益	1億27百万円	9億20百万円	4百万円	△82百万円
前年同期比	58.2%減	6.5%減	—	—

(注) 1. 各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高または振替高を含んでおります。
2. 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

■ 2014年度 経営戦略

“グローバル競争力”を強化し、競争に打ち勝つ事業体質の確立

世界の自動車需要は、今後も中国、インド、アセアン諸国や南米などの新興国を中心に順調に増大していくことが期待されるなか、日系部品メーカーだけでなく、海外や現地メーカーとの価格・技術競争が激しさを増しております。このグローバル競争に打ち勝ち、先行き不透明な国内の事業環境に対応するため、引き続き“構造改革”・“高付加価値製品開発”・“グローバル供給体制構築”を柱に、国内外でのアクションを着実に実行してまいります。

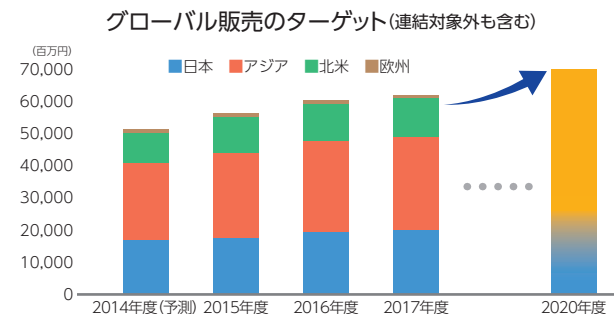


日本においては構造改革の下、高効率な経営を目指すとともに、傘中空エンジンバルブなどの高付加価値製品の拡販・量産化や国内外の拡販のベースとなる技術競争力を高めてまいります。アジアにおいては、高効率製造ラインの導入や地域特性に応じて製品を集約化し生産、欧米においては、特に米国については増設されたラインを活かし、大ロットによる効率的な生産を行ってまいります。

これらの戦略を着実に実行し成果を出すことで、グループ全体での売上高拡大を目指していきたいと考えております（右図参照）。

近年、当社は顧客ニーズに対応すべく、海外新拠点の整備や国内で培った“ものづくり力”の海外展開などを積極的に行ってまいりました。その間、当社の顧客である完成車メーカーはモジュール化の動きを加速させ、部品共通化に伴う大ロットによる発注、グローバルでの部品調達やユニットによる生産を行っている中で、当社は各地域にある生産拠点を最大限に活かし、大ロット生産はもとより顧客の細かなニーズにも対応したグローバル最適生産を成し遂げるため、独自の地域別戦略を加速させてまいります。

中期経営ビジョンの目線(売上高推移のイメージ)



■ 当社傘中空エンジンバルブ(高付加価値製品)の開発・生産

2015年以降の燃費・排ガス規制の更なる強化により、エンジンの高効率化が進み排気温度が高温となり、既存の中実エンジンバルブでは要求に応えられなくなります。また高級材を使った製品や他社製の中空エンジンバルブも、低コスト要求に応えられなくなっております。当社は更なる顧客ニーズに応えるべく、当社独自技術による傘中空エンジンバルブを開発、2015年より当社山陽工場にて量産を開始いたします。当社では当該製品を高付加価値製品と位置づけ、継続的な拡販を進めてまいります。

当社傘中空エンジンバルブの特長

更なる耐熱性向上・軽量化を実現！
4輪向け日鍛傘中空バルブ

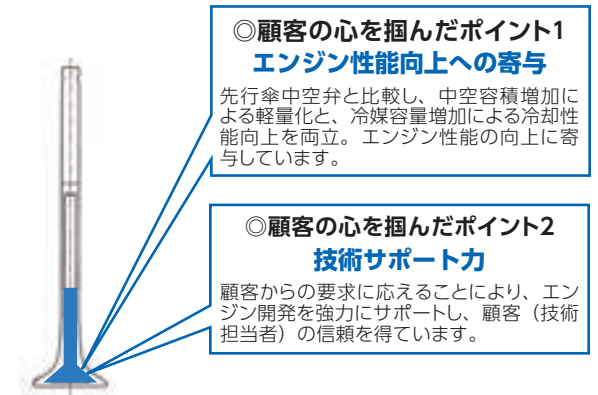
軽量化 最大△20%

温度低減 最大△200℃

※従来中実エンジンバルブとの比較

拡販の進捗

- ✓ 日系メーカー向けに量産開始(2015～)
- ✓ 韓国メーカー向けに量産開始(2015～)



■ Nittan India Techの進捗

インド市場における二輪車および四輪車の普及と拡大を見据えた布石

当社は、新たなグローバル戦略拠点として、昨年3月、インドに小型エンジンバルブ生産を目的とする現地法人を設立しました。インド市場においては、二輪車、四輪車ともに今後更なる普及と拡大が期待されることから、こうした市場ニーズ、顧客ニーズに応えてまいります。工場建屋はすでに完成し、現在、本年12月の生産開始に向けた準備を進めております。

開所式 2014年12月10日



会 社 名：NITTAN INDIA TECH PRIVATE LIMITED
所 在 地：インド共和国アンドラプラデッシュ州スリシティ(チェンナイから55km)
資 本 金：17億円相当額
出資比率：当社99.9% 港南通商株式会社0.1%
事業内容：各種小型エンジンバルブの製造販売
設 立：2013年3月
生産開始：2014年12月予定

■ 連結貸借対照表 (単位:百万円)

科 目	当第 2 四半期 平成26年9月30日現在	前期 平成26年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	18,324	18,458
固定資産	33,588	32,790
有形固定資産	23,049	21,547
無形固定資産	699	717
投資その他の資産	9,839	10,525
資産合計	51,912	51,248
(負債の部)		
流動負債	12,065	12,500
固定負債	10,640	9,551
負債合計	22,706	22,051
(純資産の部)		
株主資本	20,137	20,388
資本金	4,530	4,530
資本剰余金	4,506	4,506
利益剰余金	11,146	11,396
自己株式	△45	△45
その他の包括利益累計額	2,711	2,659
少数株主持分	6,356	6,149
純資産合計	29,206	29,196
負債純資産合計	51,912	51,248

※ 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

■ 連結損益計算書 (単位:百万円)

科 目	当第 2 四半期 平成26年4月 1 日から 平成26年9月30日まで	前第 2 四半期 平成25年4月 1 日から 平成25年9月30日まで
売上高	19,558	19,031
売上原価	17,039	16,382
売上総利益	2,518	2,648
販売費及び一般管理費	1,617	1,722
営業利益	901	926
営業外収益	311	300
営業外費用	178	69
経常利益	1,034	1,156
特別利益	2	0
特別損失	370	55
税金等調整前四半期純利益	665	1,101
法人税等	312	459
少数株主損益調整前四半期純利益	353	642
少数株主利益	321	308
四半期純利益	31	333

※ 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

■ 連結包括利益計算書 (単位:百万円)

科 目	当第 2 四半期 平成26年4月 1 日から 平成26年9月30日まで	前第 2 四半期 平成25年4月 1 日から 平成25年9月30日まで
少数株主損益調整前四半期純利益	353	642
その他の包括利益	△179	1,803
その他有価証券評価差額金	415	488
繰延ヘッジ損益	—	△10
為替換算調整勘定	△612	1,243
退職給付に係る調整額	16	—
持分法適用会社に対する持分相当額	1	81
四半期包括利益	174	2,445
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	81	1,567
少数株主に係る四半期包括利益	92	878

※ 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科 目	当第 2 四半期 平成26年4月 1 日から 平成26年9月30日まで	前第 2 四半期 平成25年4月 1 日から 平成25年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	732	629
投資活動による キャッシュ・フロー	△3,074	△3,016
財務活動による キャッシュ・フロー	1,232	2,143
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△158	179
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△1,267	△64
現金及び現金同等物の 期首残高	4,951	3,213
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	595	490
現金及び現金同等物の 四半期末残高	4,280	3,640

※ 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

 当社ホームページのご案内

当社ではホームページを重要な情報発信源のひとつとして認識しており、より多くのステークホルダーの皆様当社をご理解いただけるよう、これからもタイムリーな情報提供に努めてまいります。是非ご覧ください。



URL <http://www.niv.co.jp>

株式の状況

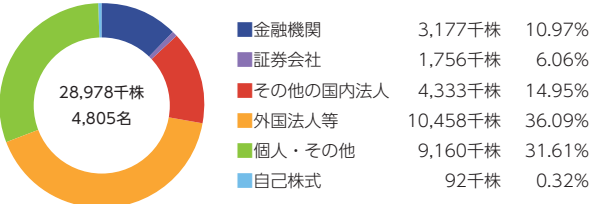
発行可能株式総数	89,000,000株
発行済株式の総数	28,978,860株
株主数	4,805名

大株主 上位10名

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
イトンコーポレーション	8,693	30.00
立花証券株式会社	1,445	4.99
株式会社横浜銀行	1,302	4.49
本田技研工業株式会社	1,233	4.26
トヨタ自動車株式会社	1,057	3.65
株式会社シンニッタン	517	1.78
株式会社みずほ銀行	472	1.63
ノーザン トラストカンパニー（エイブイエフシー） サブアカウントノントリーティー	464	1.60
明治安田生命保険相互会社	448	1.55
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	435	1.50

(注) イートンコーポレーションは所有する当社株式8,693,660株のうち799,800株をメロンバンクトリートリークライアンツオムニバス(常任代理人株式会社みずほ銀行決済営業部)に信託しており、同社名義で株主名簿に記載されています。

株式分布状況



会社概要

会社名	日鍛バルブ株式会社
英文会社名	NITTAN VALVE CO., LTD.
本社所在地	神奈川県秦野市曽屋518番地
設立年月日	昭和23年11月10日
資本金	4,530,543千円
従業員人数	687名

主要な事業内容

下記製品の製造及び販売

- ・小型エンジンバルブ(乗用車・二輪車・トラック・バス・汎用製品等のエンジンバルブ)
- ・船用部品(船舶用エンジンバルブ、汎用製品のエンジンバルブ)
- ・可変動弁・歯車(自動車用電磁式連続カム位相可変機構、自動車・トラック・農業機械・建設機械・産業機械等の精密鍛造歯車)
- ・その他(バルブリフター、ローラーロッカーアーム、工作機械製造販売ほか)

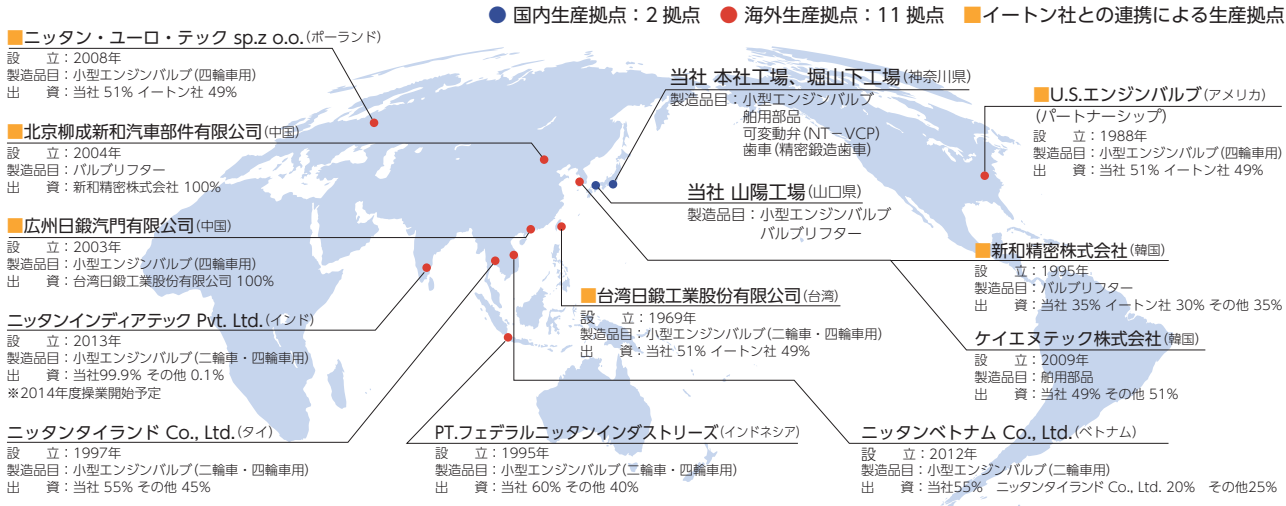
役員一覧

代表取締役社長	高橋久雄
専務取締役	金原利道
常務取締役	愛野浩史
取締役	中元一雄
取締役	目黒淳一
取締役	井上文雄
取締役	小関誠也
取締役	李太煥
取締役	六浦満夫
取締役	ナンダ・クマール
取締役	木全紀之
監査役(常勤)	鈴木文孝
監査役	渡辺博昭
監査役	村田浩
監査役	下山秀弥

国内の主要な事業拠点

本社工場	〒257-0031 神奈川県秦野市曽屋518番地 TEL.0463-82-1311 FAX.0463-82-7413
山陽工場	〒757-0003 山口県山陽小野田市大字山野井字国木1173番20号 TEL.0836-73-1611 FAX.0836-73-1616
東京事務所	〒160-0023 東京都新宿区西新宿8丁目4番2号 野村不動産西新宿ビル2階 TEL.03-5337-3211 FAX.03-5337-3210
中部営業所	〒451-0045 愛知県名古屋市区西区名駅2丁目34番20号 CK23名駅前ビル5階 TEL.052-485-6121 FAX.052-562-0500
広島営業所	〒732-0053 広島県広島市東区若草町12番1号 アクティブインターシティ広島11階 TEL.082-258-3125 FAX.082-258-3144

グローバル生産拠点



関連会社(※連結対象会社)

【国内】 港南通商株式会社*	〒257-0031 神奈川県秦野市曽屋78番地 TEL.0463-81-1172 FAX.0463-82-0338
有限会社秦和商事	〒257-0031 神奈川県秦野市曽屋518番地 TEL.0463-83-0321 FAX.0463-85-1317
ニッタン・グローバル・ テック株式会社*	〒160-0023 東京都新宿区西新宿8丁目4番2号 野村不動産西新宿ビル2階 TEL.03-5337-3248 FAX.03-5337-3338
【海外】 台湾日鍛工業股份有限公司*	台湾 桃園県
U.S.エンジンバルブコーポレーション*	米国 オハイオ州
U.S.エンジンバルブ (パートナーシップ)*	米国 サウスカロライナ州
新和精密株式会社	韓国 大邱市
ケイエヌテック株式会社	韓国 慶尚北道
PT.フェデラルニッタンインダストリーズ*	インドネシア 西ジャワ州
ニッタンタイランド Co.,Ltd.*	タイ チョンブリ県
広州日鍛汽門有限公司*	中国 広東省
NITTAN(BVI)Co.,Ltd.*	英領ヴァージン諸島
北京柳成新和汽車部件有限公司	中国 北京市
ニッタン・ユーロ・テック sp.z o.o.*	ポーランド シロンスク県
ニッタンベトナム Co.,Ltd.*	ベトナム バクニン省
ニッタンインディアテック Pvt.Ltd.*	インド アンドラプラデッシュ州
韓国日鍛株式会社	韓国 ソウル特別市
新和 TAKAHASHI PRESS株式会社	韓国 慶尚北道